



いわせ たつや
岩瀬 竜弥

竜美丘スタイル

ともに「笑顔」「学び」「感謝」を毎日 授業で輝く竜美っ子

力強く校歌を歌い続けること



4日(月)の放送集会で私から、終業式で校歌を歌うことを伝えました。実は、私は着任してまだ一度も聞いたことがありません。その理由は、
○ 入学式、1学期始業式はコロナ2類相当で×
○ 1学期終業式、2学期始業式は暑さのため×
さらに本校2年目の先生方も聞いたことがない、とのこと。以下3つの特徴を説明して大切にしてほしい、と竜美っ子に願いを込めました。

- ① 第1回卒業生(S51度)が卒業式で歌えるように作成
- ② 清水孝之氏の作詞による序歌(歌の前に序)あり
- ③ 川崎祥悦氏の作曲による合唱(ハモリ)に

私は城南小学校第1回の卒業生で、当時校歌がなく、自分たちで作詩をして卒業式に間に合わせました。竜美丘小の鈴木依治初代校長の子供たちを大切にしたい(左下)は、語り続けなければいけません。歌詞の中には「天まであがれ」

「希望の光」「宇宙の夢」「星までとどく」・・・と他校にはない大きな夢も含まれています。特に私は「♪精いっぱい 遊ぼうよ / 友ら手を取り 励もうよ♪(2番)」がお気に入りです。竜美



っ子、卒業生の方々はいかがでしょうか。

開校48年目。第1回の卒業生は60歳に。卒業生のみなさん、もしどこかで校

歌が聞こえたら、一緒に口ずさんでハモってくださいね。当時をぜひ思い出して。



第1回卒業生

「校旗樹立・校歌制定に想う」 鈴木依治 初代校長
 ※学校だより 第十五号(昭和52年3月17日)より抜粋
 新設校竜美丘小に勤務し、子供たちとともに一年を夢中で過ごしてきた。学区の方々やPTAの人々にあれこれといういろいろなことをお願いしてきた。みなさんは、無理を承知で温かく受け入れて下さった。ありがたかった。その上に、第一回の卒業生が、校旗の下で、声高らかに校歌を歌って巣立つことができたらと願った。・・・略・・・
 竜美丘小を卒業した子らが、あの満員電車の中で歌った若者のように、幸せで心が踊るときに、また、不幸に打ちひしがれているときに、校旗を思い浮かべて力強く校歌を歌い続けることを願ってやまない。